事例No.	3113
公表年度	R6
団体の属性	中核市
団体名	神奈川県横須賀市

事例区分	DX

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・ICT

事例種類	事業効率化

事例内容・タイトル

「生成AI開国の地」の好事例・ノウハウの横展開

出典

自治体におけるAIの利用に関するワーキンググループ（第2回）④

本格導入 02

主な活用事例 文章生成・企画立案

「生成AI開国の地」の好事例・ノウハウの横展開（横須賀市）

事例のポイント

- 庁内職員を対象に「ChatGPT活用コンテスト」を開催し、生成AIの利用スキル向上や好事例の共有を図っている。
- 2024年１月に２日間にわたって全国の自治体・企業向けに実施した「横須賀生成AI合宿」や、全国22自治体が参加するポータルサイト「自治体AI活用マガジン」の活動を通して、全国の自治体へノウハウを共有している。

- **生成AIの概要**：全庁的に「GPT-4o」を利用しており、LoGoチャットを通じてAPI連携を行っている。
- **導入に至った経緯**：市長からデジタル・ガバメント推進室への相談をきっかけに検討チームを発足し、実証実験を開始。実証実験の結果から費用対効果が高いことが見込まれたため、本格導入に切替。情報系に強い職員が生成AIの担当として活躍したことで早期に導入を進めることができた。
- **生成AIの活用内容**：主に文章作成や企画立案に利用しているが、「エクセル関数の作成」や「庁内のシステムを連携させるためのソースコードの作成」などにも利用している。
- **生成AI活用促進の取組**：
  ・出来る限り多くの職員に利用してもらいたいと考え、職員の利用を進めるためChatGPTを広く知ってもらうよう庁内報の作成・庁内PRを行った。
  ・「ChatGPT活用コンテスト」を開催し、好事例の横展開を行っている。

  ChatGPT活用コンテストURL：https://www.youtube.com/watch?v=Zgy42A45lxk
- **導入による業務改善効果**：利用人数や１件あたりの削減効果を基にした算出では年間22,700時間の改善効果を見込んでいる。生成AI活用による業務効率化を実感しており、高い費用対効果が得られている。
- **導入における課題**：セキュリティの担保が課題であったが、2023年３月にOpenAI社の規約が変更となり、API経由で入力された情報は学習に使われない旨が明記されたため課題が解消された。
- **今後の生成AI利用の展望**：
  ・積極的に生成AIを活用してもらいたいため、庁内報で引き続き周知を図る。
  ・AI戦略アドバイザーによる職員向け研修実施に加え、庁内で好事例や効率的な活用方法を横展開し職員のスキルアップにつなげる。
  ・生成AI利用促進を機に既存の業務フローを見直しなど改革マインドを持つ職員の育成や組織風土の醸成を目指す。
  ・note株式会社と共に運営しているポータルサイト「自治体AI活用マガジン」でノウハウを共有し、全国の地方自治体における生成AI活用促進に寄与する。

※自治体AI活用マガジンURL:https://govgov.ai/

横須賀市自治体AI活用マガジンイメージ



出所）「横須賀市生成AI推進チーム記事まとめ 」（横須賀市、2023年）

スケジュール

- 2023年　4月：実証実験の開始
  （2023年４月18日にプレスリリース、2023年４月20日に市長が記者会見を実施）
- 2023年　6月：実証実験の成果を発表するとともに本格実装を開始
- 2023年　8月：「自治体AI活用マガジン」の運用開始
- 2023年　9月：相談業務への生成系AI活用に関する実証を開始